学校番号	１１１

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育（男子）	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の特性を深く学び、自己や仲間の課題に応じた解決方法を見つけられるよう協力し、責任
　を持って主体的に取り組み、運動を楽しむことができるようにしよう。
・正しい服装、安全に配慮し時間、ルールを守り授業に参加できるようにしよう。

２　学習の到達目標

・各種の運動の合理的な実践を通じて、自己の能力に応じて自らの力で運動能力を高め運動の楽し
　さや喜びを深く味わうとともに体力の向上を図る。
・運動や健康の科学的な理解の上に立って、運動を通して実践・公正・協力・責任などの社会的態
　度を育て、生涯を通じて明るく豊かで活力のある生活を営む資質や能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。 運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	受講態度の観察 ノート レポート 等	技能観察 実技テスト 等	受講態度の観察 ノート レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	陸上競技	短距離走、50m走、リレー	○		○	○	a:自己の課題に応じた運動の取り組み方に工夫している c:自主的に効率的な方法を見つけようとしている d:技術の名称や走力の高め方、方法を理解している	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	集団行動　身体つくり運動	オリエンテーション ラジオ体操 体ほぐしの運動 集団行動	○	○		○	a:集団の約束やルールを守って行動すること、リーダーの指示に従い行動すること、安全に留意して行動することができる。 b:自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫している。 d:集団行動のおもな行動様式を理解し、身につけている。運動の行い方、効果、安全の確保の仕方について理解している。	受講態度の観察 技能観察 実技テスト
	柔道	柔道を学習するに当たって 体つくり 礼法 受身 　後受身 　横受身 　前回り受身	○	○		○	a:　柔道の特性を理解し安全に十分配慮することができる。また相手を敬い、礼儀を重んじることができる。基本技術の習得に真摯に取り組むことができる。 b:体つくりの重要性をよく理解し、自分自身にしっかり負荷をかけて取り組むことができる。 d:　受身や体つくりの重要性や方法をよく理解し実践できる。正しい礼法を身につけ実践できる。	受講態度の観察 技能観察 実技テスト
2学期	陸上競技	障害走、50mハードル	○		○	○	a:互いに協力して実践課題に応じた取り組みを工夫している。 c:安全に自己の能力にあった技術を工夫して身につけている d:技術の名称や行い方、運動の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

	球技 ゴール型	バスケットボール	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとする、自己責任を果たす、安全に留意し自主的に活動する。 ｂ：生涯にわたって球技を豊かに実践するために、自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：球技の特性に応じた作戦をたてる、仲間と連携した動きを身につけている、走る、跳ぶ、投げるといった基本的な運動を実践することができる。 ｄ：球技の特性、技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について理解している。	受講態度の観察 技能観察 実技テスト
	柔道	体つくり 礼法 受身 　後受身 　横受身 　前回り受身 寝技 　けさ固め 　上四方固め 　横四方固め 乱取り	○	○	○	○	a:　柔道の特性を理解し自分自身だけでなく、相手の安全にも十分に配慮することができる。また相手を敬い、礼儀を重んじることができる。基本技術の習得に真摯に取り組むことができる。 b:体つくり・受身の重要性をよく理解し積極的に取り組むことができる。柔道のルールをよく理解し、乱取りの審判を的確におこなうことができる。 c:修得した寝技を駆使して、乱取りで仲間と競い合い、また楽しむことができる。 d:　柔道のルール・乱取りの方法をよく理解し、安全にリーグ戦をおこなうことができる。 寝技の正しい方法をよく理解し実践できる。	受講態度の観察 技能観察 実技テスト

3学期	陸上競技	持久走	○	○		○	a:健康に留意し生涯にわたって健康増進する取り組みをしている。 b:自己の能力を判断し生涯健康で体力向上できるよう取り組もうとしている c: d: 体力の高め方、自己判断運動の実践方法を理解している	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
3	球技 ゴール型	サッカー	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとする、自己責任を果たす、安全に留意し自主的に活動する。 ｂ:生涯にわたって球技を豊かに実践するために、自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫している。 ｃ:球技の特性に応じた作戦をたてる、仲間と連携した動きを身につけている、走る、蹴る、投げるといった基本的な運動を実践することができる。 ｄ:球技の特性、技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について理解している。	受講態度の観察 技能観察 実技テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。